

Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズWeb版

CIAと行動科学：
マインド・コントロール、薬物実験、MKULTRA計画

The CIA and the Behavioral Sciences: Mind Control, Drug Experiments and MKULTRA

20世紀半ばに米国中央情報局(CIA)が行った、マインド・コントロールや洗脳実験に関する文書を収録

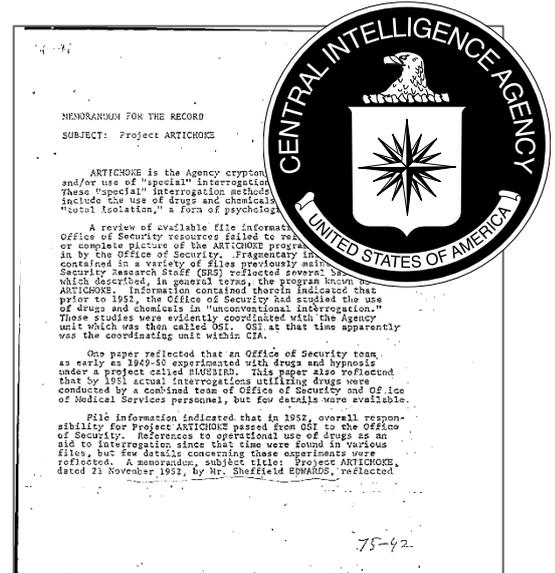
第二次世界大戦後から1970年代にかけて、CIAによって行われた行動科学、マインド・コントロール、薬物実験等に関する文書を1200点・8900ページ収録するコレクションです。約8割がCIAの文書であり、その他にNGOや国防総省の文書を含みます。

戦後の東側陣営との競争意識や安全保障の名のもと、CIAによって薬物実験をはじめとする非倫理的な作戦と実験が繰り返されました。

MKULTRAは、それらの極秘プロジェクトの一つであり、薬物やマインドコントロールを利用した洗脳実験のコードネームです。本データベースはCIA創設初期における、秘密裏且つ物議を醸す構想について、実質的な記録を残します。

こうした記録は、CIAの高官によって、1973年に隠蔽のため破棄されたものの、事実を希求する人々・非営利団体等の努力により、残る文書に対して、解除請求が行われました。なかでも、元国務相職員且つ情報公開法(FOIA)の利用者でもあったジョン・マークス(John Marks)は、機密解除された数多のCIAの記録とMKULTRA計画に関する論文を入手し、アメリカ国家安全保障アーカイブへ寄贈しており、これらが今回のコレクションの中核を成しています。

他には、薬物実験の被害者をサポートしたCIAのVictim's Task Forceの文書群、連邦麻薬捜査官の手帳、CIA長官アレン・ダレス(Allen Dulles)のMKULTRA計画に関する文書、ブルーバード計画・アーティチョーク計画に関する文書を収録します。



Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web版

機密解除文書を中心にアメリカ政府の外交関連文書を収録するデータベースです。重要な国家政策の形成・施行過程に関するアメリカ政府機関の文書を収集・公開する非営利団体、The National Security Archive (NSA、アメリカ国家安全保障アーカイブ)とClarivate(旧ProQuest)の協力の下、NSAの所蔵文献の中から特に重要な文献を選び、学術研究向けに編纂して提供します。

**NATIONAL
SECURITY
ARCHIVE**

当コレクションがカバーするトピック例

- マインド・コントロール、薬物実験、洗脳実験：
Project BLUEBIRD / Project ARTICHOKE / MKULTRA / MKNAOMI / MKDELTA / MKSEARCH
- CIAと米国連邦議会による、計画・実験の調査
- LSD(強力な幻覚剤(精神異常発現物質)リゼルギン酸ジエチルアミド)の利用
- CIA研究者であるフランク・オルソン(Frank Olson)の身投げ事件
- CIA創設初期における諜報機関の構想

日本販売総代理店

BOOKS
KINOKUNIYA **紀伊國屋書店**

デジタル情報営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3丁目7番10号
TEL: 03-6910-0518 e-mail: online@kinokuniya.co.jp

ProQuest

Part of Clarivate

関連コレクション

◆ CIA極秘作戦1:カーターからオバマまで、1977-2010年

CIA Covert Operations: From Carter to Obama, 1977-2010

CIAの極秘作戦に関するシリーズの第一弾です。カーター政権からオバマ政権にかけて行われたCIAの極秘作戦に関する文書を収録します。最新の機密解除文書を含む2,300点の文書は、これまで文書の乏しかったアメリカの国外活動を詳細に記録します。収録するテーマは、アフリカ、中南米、ラジオ放送、対テロ戦争などにおけるCIAの極秘作戦と、それに対する公式見解及びアメリカの諜報活動マネジメントなど、CIAの関わったあらゆる事項に及びます。大統領の発言のメモ、国家安全保障会議の文書、CIAの高官が大統領に宛てた非公式の文書、CIAの調査報告などを収録します。

◆ CIA極秘作戦2: 諜報の年、1975年

CIA Covert Operations II: The Year of Intelligence, 1975

1975年に行われた、CIAの活動の調査に関する文書を収録します。1974年にThe New York Timesが暴露したCIAの違法行為は世論の憤激を巻き起こし、これを受けてフォード大統領はブルーリボン大統領委員団(ロッキンフェラー委員会)を設置、上院ではチャーチ委員会が、下院ではパイク委員会が、CIAの活動を調査しました。当コレクションは、その後もこの種の調査のモデルとなったこれらの委員会の文書を豊富に収録し、そして、フォード政権がこの政治的危機にどのように対応し、最終的に諜報組織をいかに再編成したか、そして政府として初めて諜報機関の使命と役割とを明確にした行政命令をいかに下したかを、細部まで明らかにします。

◆ CIA極秘作戦3: ケネディからニクソンまで、1961-1974年

CIA Covert Operations III: From Kennedy to Nixon, 1961-1974

カストロ政権を転覆させようとして歴史的失敗に終わったピッグズ湾事件を中心に、キューバ、イギリス、ギニア、ボリビア、インドネシア、ドミニカ共和国、イラクなどでCIAが実施・計画した極秘作戦に関する2,400点の文書を収録します。ピッグズ湾事件後に計画されたカストロ政権転覆作戦・通称マンゲース作戦や、ドミニカの独裁者トルヒーヨの暗殺計画、クルド人への秘密裏の支援、中央アフリカ共和国の独裁者ボカサへの賄賂の許可を求める文書など、この時代のCIAの秘密活動を証言する貴重な文書を提供します。その中にはこれまであまり知られていない、あるいはまったく未調査の作戦も含まれます。

また、秘密活動を許可した”Special Group”の会議の議事録やCIAの局長のスタッフミーティング、CIA長官ジョン・マコーンの記したケネディ・ジョンソン両大統領とのミーティングのノートなど、CIA最高司令部の内部文書を幅広く収録しています。

◆ CIA極秘作戦4: アイゼンハワーの時代、1953-1961年

CIA Covert Operations, Part IV: The Eisenhower Years, 1953-1961

アイゼンハワー大統領は、CIAに世界各地での数々の秘密工作を許可した大統領であり、彼の在職期間はCIAがその歴史の中でも特に活動的な時代でした。当コレクションでは、アイゼンハワーが大統領をつとめた1953年から1961年にかけてのCIAの秘密作戦に関する当時の政府文書を、新たな機密解除文書を中心に1,800点収録します。

カストロ政権転覆計画をはじめ、中国の影響力の拡大を恐れて1956~57年にチベットで行った抗中ゲリラへの支援、朝鮮戦争での諜報活動、石油産業の国有化を進めるモサデク政権を転覆させた1953年のイランのクーデター支援、鉱山地帯の分離独立に反対するルムンバ政権を転覆させた1960年のコンゴ動乱の支援、左派政権を転覆させた1954年のグアテマラ反革命クーデター支援のほか、アルバニア、ドミニカなど、冷戦下に世界各地でCIAが展開した秘密作戦に関する政府内部の文書を読むことができます。

Digital National Security Archiveの他のコレクションのリリース状況および各コレクションの詳細情報は、以下のURLまたは右側のコードより、ご覧いただけます。

【教育と研究の未来: Digital National Security Archiveご紹介ページ】

<https://mirai.kinokuniya.co.jp/catalog/dnsa>



契約関連情報

◆ 既刊全コレクションの年間購読

◆ コレクション毎の恒久アクセスライセンス

※年ごとに維持料金あり。ただし、過去にDNSAのいずれかのコレクションを購入し、現在維持料金をお支払いいただいているお客様は、新たなコレクションの購入によって、追加の維持費が発生することはありません。

◆ IPアドレス認証方式・同時アクセス無制限

◆ 個別にお見積申し上げます。お気軽にお問合せください。